

インプットされた景観の特性について（奈良市の景観イメージ調査）

1. 都市計画学会国際シンポジウム参加者アンケート調査

(1) 実施概要

表 都市計画学会国際シンポジウム参加者アンケート調査の実施概要

項目	概要
趣 旨	<p>世界遺産登録資産をはじめ、世界に誇れる歴史文化を有する奈良市においては、日本全国や各国からの観光客・来訪者の視点も踏まえた景観施策展開を図り、「国際文化観光都市 奈良」として発展・成熟していくことが求められる。</p> <p>そこで、本年 8 月 28 日から 30 日にかけて開催された都市計画学会国際シンポジウム“The International Symposium on City Planning 2010 in Nara”の開催にあわせて、国内外の都市計画の専門家（日本各地、韓国、台湾他）から奈良市の景観イメージや景観の課題等に対する意見を聴取し、計画づくりに役立てていくことを目的とした。</p>
設 問	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市のイメージについて ・奈良市の景観の課題について ・奈良市の眺望景観について ・回答者について
様 式	<p>A 4 版 1 枚（白黒両面、表面：依頼票、裏面：調査票）</p> <p>・外国人用：英語版、日本人用：日本語版</p>
調査方法	<p>以下の 3 通りのアンケート調査を実施</p> <p>調査方法 1</p> <p>実施日：2010 年 8 月 29 日（日）</p> <p>対象者：国際シンポジウム参加者</p> <p>概要：奈良女子大学記念館に設置される受付（日本、韓国、台湾の各々の受付）において、受付の際に調査票を配布し、空いている時間に回答いただき、受付に回収ボックスを設置して調査票を回収した。</p> <p>ラウンジにて調査員が直接調査票を配布、回答していただいた。</p> <p>調査方法 3</p> <p>実施日：2010 年 8 月 30 日（月）</p> <p>対象者：テクニカルツアー参加者</p> <p>概要：8：30JR 奈良駅にて、参加者にアンケート票を配布し、ツアー中の時間がある時に回答いただく。15：00JR 奈良駅到着時に調査票を回収した。</p> <p>（ ）韓国、台湾の回答者には、それぞれ母国語又は英語で回答いただいた。また、その他国籍の回答者には、英語で回答いただいた。</p>

表 都市計画学会国際シンポジウム参加者アンケート調査の回収状況

国籍	8 月 29 日	8 月 30 日	合計
	調査方法 1	調査方法 2	
日 本	16	13	29
韓 国	7	21	28
台 湾	0	20	20
そ の 他	0	8	8
合 計	23	62	85

(2) 集計

奈良市の景観イメージについて

- ・全 85 名の回答者から合計 386 の奈良市の景観をイメージした時に思い浮かぶ単語（以下、「キーワード」という）を抽出した。（奈良市以外の地名、建築物等を除外）
- ・キーワードの大類型では、「自然的環境」106 件、「歴史文化遺産」164 件、「その他」26 件、「抽象表現」91 件となっている。（回答「世界遺産」1 件は「自然的環境」「歴史文化遺産」に重複して集計）
- ・キーワードの小類型では、「社寺」66 件が最も多く、「鹿その他鹿関係要素」41 件、「歴史、文化、伝統」37 件、「歴史的市街地」25 件、「大和青垣（周囲の山々）」24 件と続く。
- ・景観要素別のキーワードでは、「鹿」39 件、「東大寺」24 件、「奈良公園」13 件、「平城宮跡」10 件、「若草山」9 件と続く。

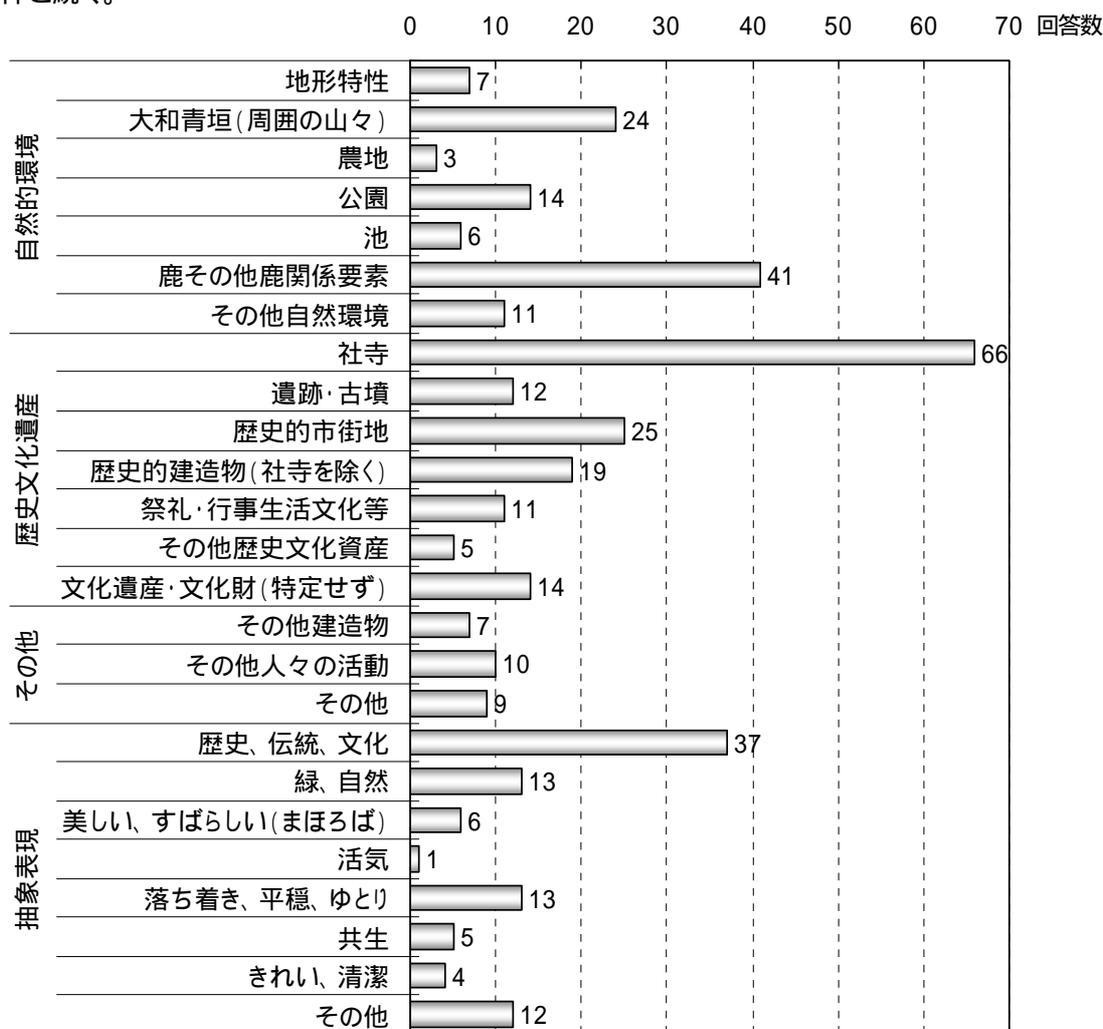


図 類型別キーワード数【都市計画学会国際シンポジウム参加者】

表 景観（空間）要素別キーワード数（上位 10 要素）【都市計画学会国際シンポジウム参加者】

順位	キーワード	件数	順位	キーワード	件数
1	鹿	39	6	平城宮跡(宮殿1、大極殿1を含む)	10
2	東大寺(大仏殿1、二月堂1を含む)	27	7	若草山	9
3	寺・寺院(特定せず)	14	8	ならまち	8
4	奈良公園	13	9	薬師寺	6
4	山、山並み、山々(特定せず)	13	9	唐招提寺	6

その他：「盆地」5、「春日大社」5、「狭い路地」5、「瓦屋根」5、「興福寺」4、「神社(特定せず)」4、「奈良女子大学」4、「猿沢池」3、「春日山原始林」2、「平野・平らな都市」2、「松」2、「池(特定せず)」2、「奈良駅舎」2、「奈良国立博物館」2、「碁盤目状の道路」2 など

奈良市の景観の課題について

・47名の回答者から52件の回答を得た。うち、景観に係る回答は以下のとおりであった。

表 奈良市の景観の課題【都市計画学会国際シンポジウム参加者】

項目	課題	日本人	外国人
土地利用等	田園地域の戸建住宅のパラ建ち。	1	0
	適切な土地利用誘導が必要。	1	0
	山や扇状地に広がる新興住宅地が問題。	1	0
	駐車場の乱立や農地の混在などの問題が奈良にも根深く浸透していて残念。	0	1
	平城宮周辺の元市街地の活用が望まれる。	0	1
新旧の調和	奈良まちは雰囲気が好きだが、カフェが多すぎて驚いた。カフェは好きだが、冷静に考えると若干の違和感はある。	0	1
	三条通はJR奈良駅と近鉄奈良駅をつなぐ重要な道であるのに、煩雑なイメージで、歴史的なまちなどの奈良らしさをあまり感じられない。	1	0
	古いものと今後できる又は今も既にある新しいものとの調和の度合いをどうするかが重要。次世代への受け継ぎ方を考えておく必要がある。	1	0
	JR奈良駅は、奈良らしさを最大限に残した古い建物のままであって欲しい。近代化するにしても、奈良らしい低層の建物でなければならない。	1	0
	古都のイメージに不調和なビル群が問題。	1	0
	古事周辺の建築景観が問題。	1	0
	世界遺産と現代都市建築間アンバランス。	1	0
	歴史的建造物とマンションなどの混在は、景観的に問題かもしれないが、うまく外観を調和させる努力が必要。古都保存のために、新しい都市エネルギーを殺してはいけない。そのエネルギーをうまく誘導することが重要である。	1	0
	商業施設の建物が古都にマッチしない。規制を強化すべき。	1	0
	猿沢池周辺のホテルが問題。	1	0
	ロードサイドショップの色づかいが問題。	1	0
	新しい郊外の店と住宅の配慮(特に観光ルート上)が必要。	1	0
	JR奈良駅周辺は、観光案内所のみ古都に相応しい趣きだが、辺り一帯は雑然として興ざめした。	1	0
	現在よりも大きな建物が建たないようにすべき。	1	0
	歴史・文化資源による景観と、森・木など自然環境による都市景観が優れている。しかし、活気がなくとも保守的で停滞している都市に見える(建物の形などが)。	0	1
現在は「保存」に偏っている計画が主になっているようだが、今後は「開発」にも関心を注いで欲しい。保存を阻害する分別のない開発ではなく、保存と開発がお互い助け合うという意味での開発。奈良ならではの独特の色を持つ開発で欲しい。	0	1	
Landmarkとして働くほどの象徴物がない。現代と伝統の共存を求めているのか、それとも伝統の復元を求めているのか曖昧。よりアピールできるCIが必要。	0	1	
空間整備・修景等	小学校の修学旅行で来たときの猿沢池と興福寺の五重塔は印象的であったが、21年前に来たときは、池がコンクリート護岸されており、がっかりした。	1	0
	三条通りの道路拡幅(歴史的建造物の取壊しか?)	1	0
	三条通沿道のインターロッキング舗装等、現代的素材はもう一つ魅力に欠ける。路線(「歴史の道」を補完する道路ネット等)によっては、重厚感あるつくりへすべき。	1	0
	三条通沿道の伝統的街並みの保全等、成功している所も多いが、全体の市街地としてみると、様式美の保全、継承、再生は部分的に止まっている。	1	0
	歴史的な建物と自然が多く、観光ガイドブックにもたくさん紹介されているが、都市内の街路や都市の入り口にその特徴が十分に反映されているとは思われない。バス停、街路灯、看板などにも歴史的イメージをつけるといいと思う。	0	1
平城宮跡はとも意味のある復元だったが大極殿のガラス張りはどうかと思う。	0	1	
1000年前の石畳など、古い道筋、古代の道を暗示させる道を見たい。	0	1	
緑化	緑化を推進すべき。	0	2
工作物	赤白まだらのドコモの鉄塔が問題。	1	0
	電線なども長期的な取組が必要。	1	0
屋外広告物	屋外広告物全般。	5	0
	幹線道路沿いの屋外広告物	2	0
	屋外広告物に統一性がない。古い町並みに軋は合わない。 奈良駅前の屋外広告物が目立ちすぎる。(特に色彩)	1	0
案内表示	外国人のための案内板をランドスケープの観点から導入すべき。	0	1
	街路案内板などに奈良市を象徴する標識があったら良いと思う。	0	1
都市イメージ全般	奈良市といわれてもどこまでが奈良市かイメージできないが、イメージできる必要もないと思う。 奈良＝古都のイメージとそれ以外の田園地域のイメージを分けて考えた方が良いのではない	1	0
	都市内に期待していた歴史都市としてのイメージがあまり見えなかった。	0	1
眺望	若草山の眺望、特に山容全体を考慮すべき。まわりを山に囲まれる盆地景観の保全が大切。	1	0
	寺、池、自然など構図のとれた景観の保全が大切。 電車や高速などの通過交通が多いので、見られる対象として配慮するとともに、シークエンス景観の視点場として活用していくことが望ましい。	1	0
	Landmarkとして働くほどの象徴物がない。	0	1
	特色がある空の線(Skyline)が見られない。	0	1
	道路の標識が明確でなく、Skylineが目立たないため、特色を表すことができていない。 山々の景観を市街地から望めるのであれば、もっと穏やかであるべき。	0	1

追加すべき眺望景観について

・34名の回答者から、合計46件の回答を得た。同一内容のもの、眺望景観とはいえないもの等を整理すると、合計24件となった。うち、追加すべき眺望景観4件、検討を要する眺望景観5件を抽出した。

表 美しい眺望景観【都市計画学会国際シンポジウム参加者】

No	良好な眺望景観	美しいと思う理由	備考
1	二月堂からの奈良市街地	大極殿や五重塔がつくるスカイラインが奈良固有。近景の東大寺の魅力的な景観資源と市街地、その向こうの盆地が見渡せて、地域の構造が良く分かる。山の緑とまち。他都市と比較して、広告物が少なく、緑被率、緑視率が高い。地形を考慮し、地形に調和した景観。	
2	大宮通から若草山	都市と調和した山の景観。	
3	生駒山上の展望スポットから奈良市街地	スケールアウトした建物がないから。	
4	奈良公園から東方向 (春日野園地からの眺望)	春日山を視対象とした雄大な自然景観が美しい。	
5	近鉄奈良線からの河川の自然	手がつけられていることへの憧れ、安堵感、自然の雄大さとの度合い。川の水質の美しさが保たれている。	
6	県庁の上の展望台からの奈良市街地	遠くまで見渡せ、お寺も一望できる。	
7	まちなかから見た山々	奈良の山々は美しい。緑豊かである。	
8	池の側から見た薬師寺の東塔・西塔	日本を代表する建造物である。	
9	奈良公園全部	緑が多い。鹿と人々が親和する風景。	
10	各社寺の境内からの景観	現在は樹木に囲まれてビルなどが見えない。借景にビルがうつりこまないように規制していくことが大切。周囲の人工構造物が視野に入らないため	
11	平城宮跡から見下ろした盆地の風景	古から変わらない地形を感じることができた。(都を置いた時の風水の考え方)	平城宮跡ではない(特定不可)
12	奈良公園周辺	雄大な若草山の緑 鹿のいる風景	
13	猿沢池からの五重塔	水、緑、歴史的建造物の調和	
14	ならまちから遠望した興福寺の五重塔	良く残された現代が引き立てる古代遺産として	
15	国道24号北向き	北へ向かうと広い道路が緩やかにカーブし、その奥に緑の山と町並みが見えたことが印象的である。全体の構成が良い。	シークエンス
16	興福寺南円堂からみた猿沢池方面への眺望	微地形がうまく活かされ、変化に富んだ空間構成がなされている。	
17	三条通りから春日山への眺望	三条通の賑わいと借景の春日山が街の楽しさや住み良さを表している。	
18	平城宮跡	山並みを遮らない建物の高さによる広い空、空が丸いと言って感激している人もいる。	
19	奈良公園入口付近から見上げた若草山周辺の山並み	アイストップとして有効に機能している。(山あて)	
20	奈良県新公会堂から若草山	爽雑物のない穏やかな丘陵。日本の昔を感じられる。	
21	高速道路から眺めた家屋の姿	古都のイメージに相応しく伝統家屋の姿がそのまま残っていてとても印象的で、リラックスできた。現代的な建物で都市を開発せず、伝統を保存しようとする姿が美しい。	シークエンス
22	東大寺に行く入り口	木、緑陰、緑	
23	西大寺から見た歴史的な寺の静かさ。奈良市街地の外郭	静かで、落ち着きのある雰囲気。田園と歴史の調和	
24	奈良女子大学のメインガーデンからの景色は伝統と共に、穏やかさ、平和な雰囲気を感ずることができる。	伝統と共に、穏やかさ、平和な雰囲気を感ずることができる。奈良公園は奈良の毎日の一般的な生活に壮快なイメージを与える。	一般利用不可

2. 観光客アンケート調査

(1) 実施概要

表 観光客アンケート調査の実施概要

項目	概要								
趣 旨	世界遺産登録資産をはじめ、世界に誇れる歴史文化を有する奈良市においては、日本全国や各国からの観光客・来訪者の視点も踏まえた景観施策展開を図り、「国際文化観光都市 奈良」として発展・成熟していくことが求められる。 そこで、国内外からの来訪者、観光客を対象に、奈良市の景観イメージや奈良市の景観の課題等に対する意見を聴取し、計画づくりに役立てていくことを目的とした。								
設 問	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市のイメージについて ・奈良市の景観の課題について ・奈良市の眺望景観について ・回答者について 								
様 式	A4版1枚(白黒両面、表面：依頼票、裏面：調査票) ・外国人用：英語版、日本人用：日本語版								
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日～19日(3連休のうち2日間)に、調査員1～2名が主要な観光地点を巡回して調査を実施した。 ・観光客・来訪者に調査票を直接渡し、面接方式で記載いただいた。 ・実施場所及び実施日時は以下のとおりである。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>奈良公園 ～奈良町付近</th> <th>平城宮跡</th> <th>西の京付近</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日時</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 9:00～11:00 ・2010年9月19日(日) 12:00～15:00 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 11:30～14:30 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 15:00～17:30 </td> </tr> </tbody> </table>	実施場所	奈良公園 ～奈良町付近	平城宮跡	西の京付近	実施日時	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 9:00～11:00 ・2010年9月19日(日) 12:00～15:00 	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 11:30～14:30 	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 15:00～17:30
実施場所	奈良公園 ～奈良町付近	平城宮跡	西の京付近						
実施日時	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 9:00～11:00 ・2010年9月19日(日) 12:00～15:00 	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 11:30～14:30 	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年9月18日(土) 15:00～17:30 						

表 観光客アンケート調査の回収状況

国 籍	奈良公園 ～奈良町付近	平城宮跡	西の京付近	合 計
日 本 人	33	33	34	100
外 国 人	44	6		50
合 計	77	39	34	150

表 外国人の国籍内訳

国 籍	人 数	国 籍	人 数
アメリカ合衆国	12	スペイン	2
中 国	8	フィリピン	2
ド イ ツ	6	マレーシア	2
韓 国	4	フランス	1
台 湾	4	コロンビア	1
オーストラリア	4	タ イ	1
イ タ リ ア	2	チャイニーズアメリカン	1

(2) 集計

奈良市の景観イメージについて

)日本人

- ・全 100 名の回答者から合計 532 の奈良市の景観をイメージした時に思い浮かぶ単語(以下、「キーワード」という)を抽出した。(奈良市以外の地名、建築物等を除外)
- ・キーワードの大類型では、「自然的環境」111 件、「歴史文化遺産」280 件、「その他」36 件、「抽象表現」113 件となっている。(回答「世界遺産」8 件は「自然的環境」「歴史文化遺産」に重複して集計)
- ・キーワードの小類型では、「社寺」129 件が突出して多く、「歴史、文化、伝統」61 件、「鹿その他鹿関係要素」43 件、「大和青垣(周囲の山々)」42 件、「遺跡」33 件、「落ち着き、平穩、ゆとり」26 件と続く。
- ・景観要素別のキーワードでは、「鹿」41 件、「東大寺」39 件、「薬師寺」28 件、「平城宮跡」27 件、「唐招提寺」23 件、「若草山」20 件、「興福寺」19 件と続く。

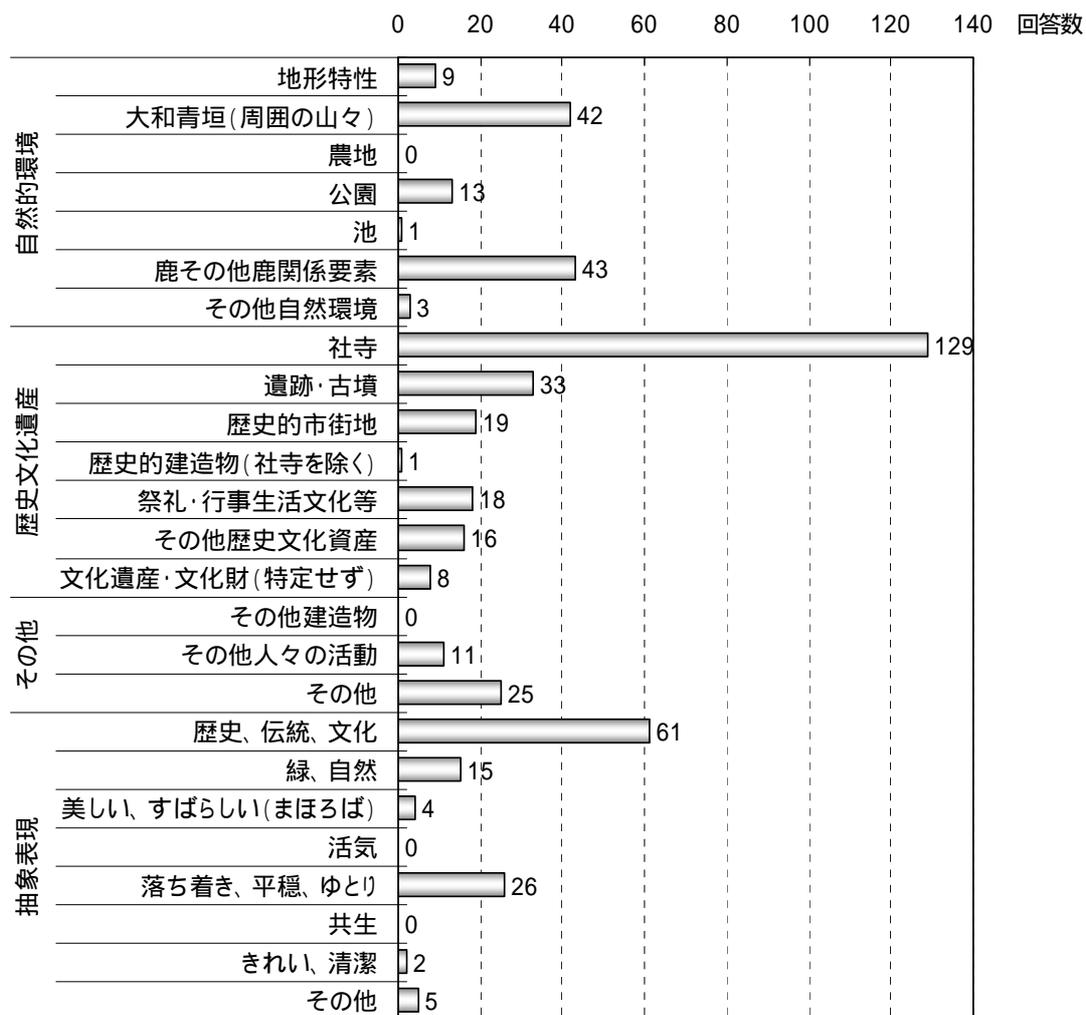


図 類型別キーワード数【観光客(日本人)】

表 景観(空間)要素別キーワード数(上位10要素)【観光客(日本人)】

順位	キーワード	件数	順位	キーワード	件数
1	鹿	41	6	唐招提寺	23
2	東大寺(二月堂1を含む)	39	7	若草山	20
3	寺・寺院(特定せず)	31	8	興福寺	19
4	薬師寺	28	9	春日大社	14
5	平城宮跡(大極殿2を含む)	27	10	ならまち	13

その他:「奈良公園」12、「山、山並み、山々(特定せず)」12、「春日山原始林」9、「盆地」8、「古墳」7、「神社(特定せず)」7、「月瀬梅林」2、「春日若宮おん祭」2、「秋篠寺」1、「猿沢池」1、「奈良ホテル」1 など

) 外国人

- ・全 50 名の回答者から合計 194 の奈良市の景観をイメージした時に思い浮かぶ単語（以下、「キーワード」という）を抽出した。（奈良市以外の地名、建築物等を除外）
- ・キーワードの大類型では、「自然的環境」48 件、「歴史文化遺産」90 件、「その他」7 件、「抽象表現」53 件となっている。（回答「世界遺産」2 件は「自然的環境」「歴史文化遺産」に重複して集計）
- ・キーワードの小類型では、「社寺」54 件が最も多く、「鹿その他鹿関係要素」33 件、「歴史、文化、伝統」25 件、「その他歴史文化資産」15 件、「遺跡・古墳」13 件と続く。
- ・景観要素別のキーワードでは、「鹿」41 件、「東大寺」39 件、「薬師寺」28 件、「平城宮跡」27 件、「唐招提寺」23 件、「若草山」20 件、「興福寺」19 件と続く。

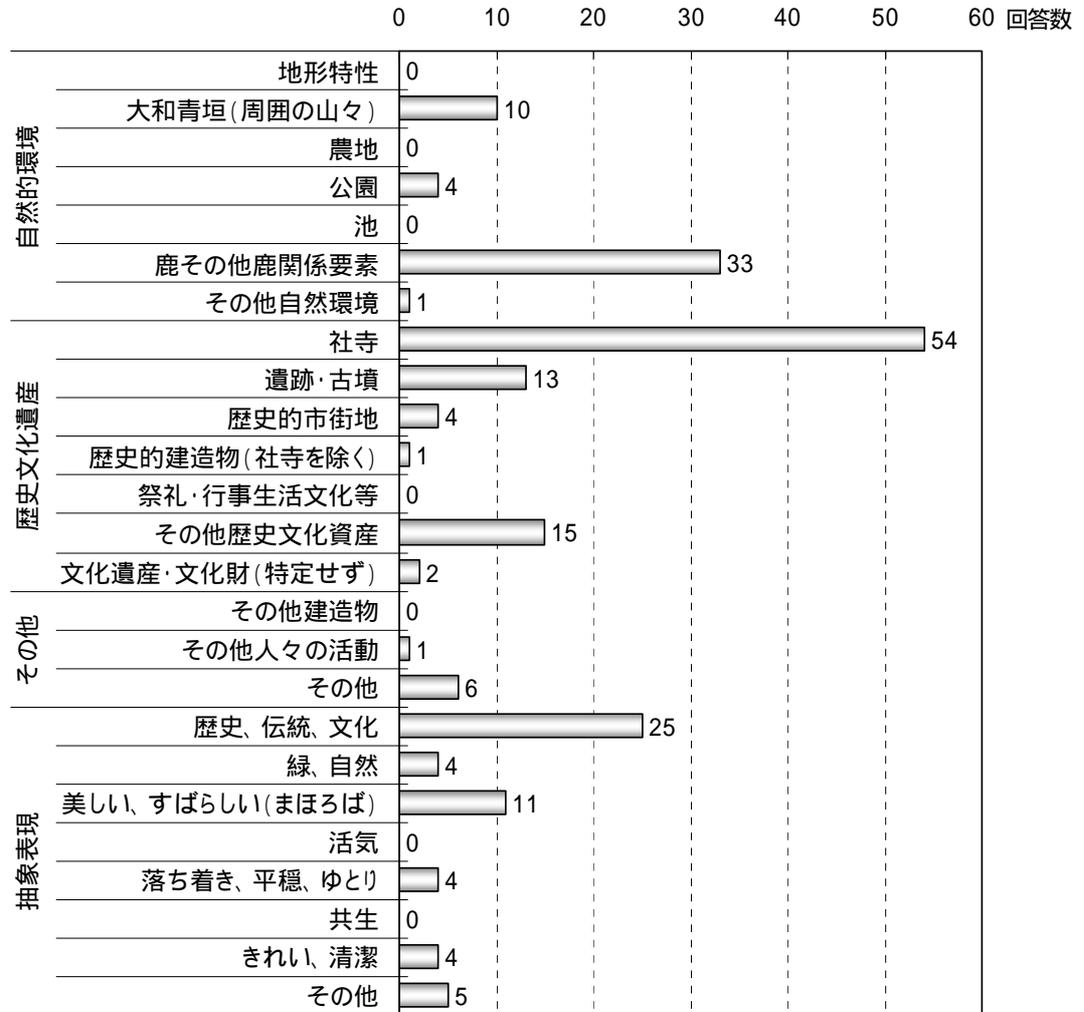


図 類型別キーワード数【観光客(外国人)】

表 景観(空間)要素別キーワード数(上位10要素)【観光客(外国人)】

順位	キーワード	件数	順位	キーワード	件数
1	鹿	33	6	神社(特定せず)	5
2	寺・寺院(特定せず)	28	6	薬師寺	5
3	東大寺(南大門2を含む)	14	8	唐招提寺	4
4	平城宮(大極殿1、宮殿1を含む)	13	9	興福寺	3
5	山、山並み、山々(特定せず)	6	9	春日大社	3

その他:「若草山」2、「奈良公園」1、「ならまち」1、「木造の家屋」1、「古い住宅」1、「古い建物」1、「大きな屋根」1 など

奈良市の景観の課題について

) 日本人

・47名の回答者から52件の回答を得た。うち、景観に係る回答は以下のとおりであった。

表 奈良市の景観の課題【観光客（日本人）】

項目	課題	回答数
新旧の調和	JR奈良駅は奈良のイメージとは違う。JRの駅前は歴史的なイメージ、落ち着いた雰囲気とすべき。	7
	JR奈良駅は近代的であるのは仕方ないが、奈良公園は昔の景色を残して欲しい。	1
	平城宮跡のなかの線路。違和感がある。	3
	平城宮内を走る近鉄線は従前のものであるから仕方ないが、技術的に可能であれば、鉄塔の間隔を広げるなどの工夫があっても良い。	1
	国道369号線の沿道店舗は古都奈良のイメージに合わない。	5
	パチンコ店なども規制が必要。	1
	社寺は世界遺産として十分な歴史と重要性、風格があるが、町にそれが感じられない。世界遺産のまちとして、もっとバッファゾーンをきっちりと保護する必要があるのではないか。普通のまちや普通の観光地と変わらないような気もする。	2
	社寺は残るので、その周りを維持していくべき。	3
住民の生活との関係も調整しながら、現在の高さを維持して欲しい。	6	
空間整備・修景等	平城宮跡の公園内の建物はもう少し工夫した方が良い。	1
	平城宮跡は広がりがあって良い。このまま残して欲しい。	1
緑化等	公園の松枯れ。もう少し整備できれば良い。	1
工作物	大きな高架道路は景観上問題。	1
屋外広告物	看板が汚く、古都奈良のイメージに合わない。	5
都市イメージ全般	歴史だけでダメだとは思いますが、やはり奈良なので歴史は尊重して欲しい。	1
	商店街のイメージがいまいち奈良のイメージに合わない。	1
眺望	平城京跡から数箇所高さの高い建物群が見える。	3
	見せたい部分を明確にして、その部分だけでもしっかりと保全して欲しい。	2
	史跡と一般住宅のコラボレーションが大切。大極殿の向こうに見える家、車、電車などここまで許容すべきか検討が必要。	2
	良い景色を見られるところ、写真の撮影スポットをもっと紹介して欲しい。	1
	若草山は全体が見えた方が良い。	1
町並みはきれいになってきているが、電線類が気になる。山や五重塔がまちと一緒に綺麗に見えた方が価値が上がる。	1	
その他	猿沢池の水は浄化できないのか。	1
	鹿の糞が汚い。	1

) 外国人

・3名の回答者から3件の回答を得た。うち、景観に係る回答は以下のとおりであった。

表 奈良市の景観の課題【観光客（外国人）】

項目	課題	回答数
屋外広告物	奈良駅前のビルにはられている看板。	1
都市イメージ全般	伝統的であるべき	1
眺望	どこから見たら良い景色などを教えて欲しい。ここからが良いという案内板があった方が良い。	1

追加すべき眺望景観について

)日本人

- ・59名の回答者から、合計72件の回答を得た。同一内容のもの、眺望景観とはいえないもの等を整理すると、合計18件となった。うち、追加すべき眺望景観7件、検討を要する眺望景観1件を抽出した。

表 美しい眺望景観【観光客(日本人)】

No	良好な眺望景観	美しいと思う理由	備考
1	猿沢池から興福寺	歴史を感じられる。	
2	春日野園地から東側の山並み	自然が豊か。ゆとりがある。のどか。鹿と緑豊かな風景が奈良らしい。	
3	若草山の上から市街地や春日山原始林	自然が豊か。見晴らしが良い。周囲に大きな建物がなく、五重塔が浮かび上がり、シンボルとなって綺麗見える。	
4	大池から薬師寺等	何かに紹介されていた。(以前探して行っただが、草が生い茂ってイメージと違っていた。)	
5	東大寺裏から二月堂と裏参道	土塀と緑がきれいで、感動した。歴史的で趣がある。	
6	平城宮跡からのパノラマ	山稜がきれいに見える。若草山の全景が見え、がシンボルとなっている。見え隠れも良い。周囲を自然に囲まれて、のびやかな感じがする。田園風景のような広がりゆとりがある。京都よりも落ち着ける。自然、地形を感じられる。古都の歴史、自然に囲まれている広がり感がある。天然の造形物としての自然と、古くからの社寺建築物の調和。空が広く見える。平城京の自然、雑草が良い。寝れるような環境が良い。背後に高い建物もなく、集落と緑と大極殿が調和している。自然と歴史遺産と現代との調和が美しい。	
7	白毫寺からの市街地	市街地の広がりが見渡せて良い。興福寺の五重塔も綺麗に見える。庭園風に整備されて、借景に市街地を望むような演出が面白い。	
8	唐招提寺から薬師寺に向かう道から東側	なだらかな山とその下の稲穂と青い空が合わさって、のどかで綺麗。	
9	興福寺宝物殿から五重塔	なんとなく落ち着く。広がり感がある。	
10	月ヶ瀬梅林	梅の季節が綺麗。自然が豊か。	
11	名阪国道のサービスエリア付近から市街地	市街地の広がりが見え、大きな都を感じられる。	
12	奈良大学の屋上から市街地	眺めが良い。緑が多い。	一般利用不可
13	東大寺二月堂から市街地	夜景が綺麗。	
14	近鉄線から平城京・大極殿	奈良へ来たという感じがした。広がり、スケールがすごい。	シークエンス
15	369号の高架道路からの眺め	高架道路自体は、あまり良いとは思わないが、そこからの眺めはきれい。	シークエンス
16	柳生の里	自然のままだから	
17	薬師寺・唐招提寺の境内の眺め	背後に何も映らない。汚いものが見えない。垣根が良い。外部と遮断されており、やすらぐ。空が広く感じる。掃除、手入れが行き届いている。	
18	東大寺大仏殿から若草山	自然が豊か。	

) 外国人

- ・ 13名の回答者から、合計14件の回答を得た。同一内容のもの、眺望景観とはいえないもの等を整理すると、合計3件となった。全て既に抽出されている眺望景観であり、新たに追加すべき眺望景観はない。

表 美しい眺望景観【観光客(外国人)】

No	良好な眺望景観	美しいと思う理由	備考
1	春日野園地から山々、歴史的な寺	美しい。 歴史的な眺め。	
2	平城宮跡から東側の山並み	広がりと山容。 シンボリックな若草山と南まで連なる広い山並みの壮大な広がり。 空と緑。 神社やお寺の屋根が美しい。	
3	若草山から興福寺五重塔	高いビルが少ないため、1つだけ突出しており、きれい。	

3. 観光ボランティアガイドヒアリング調査

合計4名の観光ボランティアガイドにヒアリングを実施した。

(1) 奈良国際交流ボランティア協会(S氏)

日 時：2010年9月27日13:30~14:30

場 所：春日ホテル1階喫茶

調査結果概要

- ・ 奈良市の眺望景観を考える際、地区としては柳生地区、田原地区を含めて欲しい。特に田原地区では、まちかど博物館などの取り組みを行っており、茶畑も美しい。
- ・ 京都から入って来る旧街道からは大仏殿が見える。そのような景色は昔の人も奈良に来たという印象を受けて見ていた景色であると思う。そのようなあたりを是非大切にしていきたい。
- ・ 大仏殿の裏手に出る道は美しい景観が残る。
- ・ 奈良市内で夕景として有名なのは白毫寺境内からの夕景である。
- ・ 白毫寺の脇の田原・水間に繋がる道を、夕方に水間の方から下ってくる時に見える夕景が美しい。特に最近新しくできたダムの脇を直線で下りる際に見える夕景は、遮るものがなく広がりを感じられる。曲がった山道やトンネルを抜けた後の下り坂であるためなおさら美しく見える。新しく作られたダムの脇に管理棟があり、横に入る場所がある。そのような場所をうまく休憩スポットのような形で整備できたら良い。
- ・ 夕方に天理街道を天理方向に走ると、帯解から天理側は家が少なくなるので、田んぼと夕日とが美しい。
- ・ 例えば柳生には屋敷があり、都祁には氷室神社がある。柳生も田原も都祁も、人の気持ちと一緒にあった宗教空間が財産として残されている。その宗教空間とその周辺の自然の景観が重なりあう部分が奈良市として価値のあり、奈良市だからこそその景観をつくり出していると思う。川がきれい、原がきれい、山がきれいという景観は日本国中どこにでもある。奈良市らしさは、歴史のなかで人が関わり、つくりあげてきた宗教空間が周囲の自然環境と重なりあう景色にあると思う。
- ・ 京都の方には、近鉄電車で京都から奈良に入ってくる時に見える、高の原付近の平城山の雑木林を残して欲しいと言われる。宅地造成してしまうともったいない。これは、奈良に入ってくるアプローチの部分として、この景色のなかを通ると奈良だという印象を受けるのだと思う。
- ・ 「日本の原風景」といわれるが、どのような風景が原風景か。今の私たちが思う原風景と1300年前の人たちにとっての奈良の原風景とは異なる。しかし、今、明日香村に行って、1300年前とは全く違う建物や道路があっても、これが日本人の原風景だと感じるものがある。しかし、その全てが明日香のものでない時がある。田舎料理らしい、ほっとすると感じる料理があるが、その材料を聞いてみると、決して奈良市原産のものや田舎のものだけではない。そのつくりあげている色々な要素が人の気持ちに働きかけているのである。奈良市には至るところに歴史的な財産があり、つくりものを加える必要がない。一番純粋な自然がそれらと重なり合うのが奈良市の眺望景観の素晴らしさである。
- ・ 仏様の姿や顔は人の心により、変化して見えるという。自然はそれ以上に変化する。違う季節の違う景色を見たとしても奈良だと思えるのは、自然のなかの様々なものが重なりあって与えるイメージである。そ

のイメージを守ることが奈良市では景観を守ることになる。

- ・見渡して見えるものがランドマークであると思うが、白毫寺や正暦寺は山中に位置しており市街地からは見えない。しかし、表面的には見えないが、あそこには正暦寺があるという、景色のなかで探し当てるランドマークもあって良いと思う。そのような仕掛けは、無理をしてつくろうとしなくても奈良市であればいくらでもできる。ここはこのような場所であるということを経史の検証でしっかりと発信・説明すれば良い。これまで大きな寺に隠れて発信しきれていなかったものが多くある。奈良市には明治の頃には価値が高かったが、今は注目されていないような資産が数多く残されている。大仏殿や若草山などのように目で見てすぐにわかるものだけでなく、奈良だからこそある奈良の奥ゆかしさのようなランドマークもあって良いと思う。別の発信の方法もある。
- ・現在の観光のあり方は、ルートにのるから良いというわけではない。自分が見つかる観光のスタイルもある。奈良好きが求める奈良は、見えているものの裏手には何があるかという部分である。
- ・若草山の旅館「平城」のロビーからも美しい景色が見えるが、屋上からは、東大寺の中門、大仏殿、南大門のつながりが全て見えるポイントである。また、時期によれば、生駒山に沈む頃の夕景も美しい。その他にも、山焼きが見える近鉄の上や日航ホテルの屋上などもある。現在、民間で商売をされている場所でも、それぞれの場所で素晴らしい眺めはたくさんある。知る人ぞ知るという情報を、民間と連携しながらうまく発信していければ、新しいルートづくりもできると思う。単に宗教空間と自然の景色だけでは、経済発展には繋がらない面もあるので、そのあたりと関係させて考えていければ良い。
- ・奈良町を上から撮りたいということで撮影場所を探したがない。眺望という点では、単なる景色ではなく、現在の人が生業をしているところを見渡せるのは良いことであり、それが近場にあると親近感が沸く。
- ・蕎麦屋の玄の付近の路地の景観も美しい。古梅園北側のやすらぎの道までの通りも、夕方にはライトアップされて美しい。奈良町では街角にある地藏なども良い。
- ・格子の家の南側の駐車場付近には、かつて大きなミモザの木があり、風呂屋の煙突とミモザの木の美しい景色があったが、現在はなくなってしまった。景観をつくっている大きな木が様々な事情でなくなるのは残念。奈良公園ではナンキンハゼは外来種であるが、その紅葉の景色は有名になり、現在は奈良公園のひとつの風物詩になっている。東大寺戒壇院の境内には梅檀が多くみられる。6月には美しく咲き、戒壇院の少し西側から見ると、咲き乱れる梅檀の花と戒壇院、大仏殿、若草山へと眺望がひらける。このように木や花も景観のポイントになると思う。
- ・入江さんが紫色の木蓮の花と東大寺の裏参道の写真「春めく二月堂裏参道」を撮影した。その写真1枚が、紫色の木蓮を皆が楽しみに待つ素材になり、その時期その場所に行こうという観光のルートとなっている。そのように、天然記念物に指定されるようなすごい木でなくとも、時期によって美しいものもある。大乗院庭園跡のサルスベリも良い。カメラで撮影する人は、いつ撮っても同じものは撮りたくない。明日香村には最近すごいカメラを抱えた人が数多く観光バスで訪れる。それは彼岸花が咲いているからであり、彼岸花と稲穂、棚田という季節ならではの風景を撮りたいのである。
- ・国土交通省では「とるば事業（安全に風光明媚な風景の写真が撮れるパーキングエリア）を実施していた。道の脇にとめてきれいな風景を眺められるような小さな空間があり、その景色を携帯でリアルタイムで情報発信できる仕組みである。
- ・若草山から見た奈良市内の景観は重要である。ミャンマーのピラミッド型遺跡であるパゴダには、朝日が望めるパゴダ、夕日が望めるパゴダなどがある。パゴダからの眺めのなかには建物が一切映りこまない。これは自分の家の側の木よりも高い家は建てないということを規定しているからである。眺望景観の規制としてはユニークな規制の方法である。奈良だからできる基準、今ある何かを基準にするという方法も良いと思うし、そうすれば奈良の物語ができると思う。

(2) 奈良 SGG クラブ (M氏)

日 時：2010年10月7日14:00~15:00

場 所：春日ホテル1階喫茶

調査結果概要

- ・奈良市らしい眺望景観の候補は、概ね網羅されていると思う。
- ・外国人の観光客を相手にしているが、なかには東大寺や興福寺、春日大社などの既成ルートだけでなく、他に良い場所に連れて行って欲しいという人もいる。奈良観光は社寺めぐりばかりで、すべて同じように見えてしまうため最初のいくつかだけで十分という。奈良観光=お寺巡りと決めてしまうのは良くない。
- ・ひとつの場所でゆっくりと満喫したいという人も多い。案内するのは1箇所でも良い。一生忘れられない

場所にすることが大切である。

- ・奈良町を案内する場合、まず最初に、この町には現在も人が暮らしており、そのなかでこのような景観が守られてきていることを説明している。生きている町であることが大切である。
- ・院や塔頭に興味をもたれる外国人が多い。院や塔頭が並び、その裏には様々な趣向を凝らした庭がある景色は奈良市らしい。
- ・四季折々の草花を楽しめることも奈良の特徴である。牡丹や桜、般若寺のコスモスも良い。薬師寺境内の椿は、咲いている時と散って花弁が敷き詰められている風景と2度楽しむことができる。
- ・頭塔は奈良固有の歴史遺産であり、重要な視点場となると思う。
- ・若草山は近づいて見ると三段構成になっていることが分かって良い。若草山からの夕景は日本の三大夕景である。県庁の屋上を案内するようにしている。県庁の屋上からは若草山の三段の山並みが美しく見える。旧奈良ドリームランドの施設が見えて阻害している。
- ・知事公舎前の道から依水園方向は写真スポットとなっており、多くの人が写真を撮影する。
- ・喫茶店奥のオープンスペースなど、民間店舗がもっている美しい眺望が得られる場所は数多くある。
- ・説明しなければ分からないようなところにも奈良らしさがある。
- ・滝坂の道を歩いて柳生の里に行きたいという外国人観光客が多い。平日は5、6名のグループであれば了承するが、カップル等の2人だけの場合は止めるようにしている。標識や道がきちんと整備されておらず、携帯が通じないところもあり危ない。ぜひ早く整備して欲しい。
- ・37万人の大都市にあって、自由に人が出入りできる広い公園は他に少ない。そして飛火野では、鹿と子供たちが遊び、鹿と共生している景色がみられる。このような景色は奈良にしかない。手を加えればいくらでも美しくできるが、昔からの日本の植生、芝であり、自然のままであの美しさが保たれている場所は他にないと思う。
- ・現在鹿が多いのは東大寺付近であり、興福寺にはあまりいない。かつては興福寺にも多くの鹿がいたはずであるが、正倉院展などで多くの人々が訪れるなかで、興福寺周辺には少なくなってきたことは残念である。
- ・奈良には京都よりもゆったりとした時間の流れがあり、広い空間とゆとりがある。これを残していくべきである。京都になってしまっただけではいけない。外国人のなかには奈良に行って日本が分かったという人が多い。特に西欧の方がそのように思われることが多い。アジアの方は奈良よりも大阪や京都を好む方が多い。
- ・田原や清澄の里付近など、奈良の食材を作っているところがある。そのような場所を眺望の中に入れて食材と一緒に紹介していくと良い。

(3) NPO 法人なら・観光ボランティアガイドの会 (N氏、H氏)

日 時：2010年10月7日 15:30~17:00

場 所：近鉄奈良駅ビル4階

調査結果概要

- ・眺望景観の候補は一般公募されていることもあり、よく網羅されている。
- ・小学校の総合学習・世界遺産学習のなかで、子供の目で見たい新しい南都八景を選ぶという取り組みを行った。(新南都八景：「佐保川の桜」「奈良公園の燈火会」「若草山の山焼き」「二月堂のお水取り」「公園の紅葉」「氷室神社のしだれ桜」「五重塔と青空」「浮見堂と月」)
- ・佐保川の桜は、単なる桜ではなく、その向こうに若草山が見え、そのなかのひとつの景色である。ひとつの景観に歴史などの話を加えて面白く語り継ぐことができる景観であると良い。
- ・春日大社は観藤広場であるという。花と組み合わせると良い。佐保川の桜などもひとつの名所となっている。奈良町で身代わり猿がかけられている景観も良い。行事や花と一体となつて作り出す景色が美しい。奈良市らしさは生活空間のなかで探すのが良い。
- ・奈良の象徴である鹿がセットであることが奈良らしさに大きく影響していると思う。
- ・春日山原始林は駅前原始林とも言われる。他の都市にはない奈良らしさである。
- ・水門町の眺望景観も土堀がなくなってしまうと眺望景観としての価値がなくなる。
- ・平城宮跡から見えるボーリング場跡なども景観を阻害している。西安の森からの下り坂で若草山、東大寺大仏殿もきれいに見えるが、県庁が阻害している。
- ・巨木などのシンボリックな樹木は残して欲しい。街路樹も低木でもよいので奈良市らしいものとしていければよい。
- ・正暦時に向かう道の付近から五重塔がシンボリックに美しく見える場所がある。
- ・風景に説明を付けていくことが大切である。県が1300年事業の後に記紀や万葉集の地をつないでいくとい

う事業を計画している。奈良の場合は資産が豊富であり、くっつけていけばいくらでも物語ができる。若草山の山頂に古墳があることも知っている人は少ないと思う。

・観光客に勧めたい景観を主観ではあるが列挙した。

- 「藤街道」(飛火野の南～鹿園、巨樹に覆いかぶさり紫を誇る野生の藤が美しい、季節による)
- 「飛火野」(広々とした芝生にのんびりと芝を食べる鹿がいる風景)
- 「浮見堂」(四季折々の美しさがある)
- 「奈良の飛鳥」(北天満、瑜伽山、瑜伽神社～天神社～浮見堂へのルート)
- 「大乘院庭園」(大乘院庭園から奈良ホテルを見上げる)
- 「ささやきの小道」(鳥がささやく、風が、木々が、愛をささやく)
- 「清水通り(滝坂の道)」(志賀直哉旧居界限)
- 「白毫寺」(萩の咲く石段と市内を眺める眺望)
- 「奈良町の元林院町」(古都の花街、まんぎょく)
- 「滝坂の道」(寝仏～朝日・夕日観音～首切地藏)
- 「柳生街道」(二尊仏～芳山～鶯の滝～若草山)
- 「若草山頂上」(見下ろしの風景)
- 「春日大社一の鳥居」(影向の松～浅茅ヶ原(江戸三周辺) 浮見堂付近)
- 「春日大社二の鳥居～春日大社南門」(鳥居と玉垣の景色と中に入って石燈籠が並ぶ風景)
- 「南門～若宮」(御間道、石燈籠、千歳楠、竹柏)
- 「上の禰宜道～金龍神社」(イチイガシの巨木、斜めに生きる鹿子の木)
- 「東大寺大仏池」(紅葉した銀杏と黄色い絨毯の銀杏、銀杏の絨毯の上で鹿がのんびりとしている景色)
- 「東塔跡」(紅葉した銀杏と黄色い絨毯の銀杏、銀杏の絨毯の上で鹿がのんびりとしている景色)
- 「二月堂の裏参堂」
- 「戒壇院の正面玄関」
- 「大仏殿西側のトイレから戒壇院を眺める」
- 「京街道から柳生街道に少し入ったあたりから大仏殿を眺める」(屋根はわずかしか見えない)
- 「若草中学校グラウンドから若草山、東大寺」
- 「平城宮跡から御蓋山」(雨上がりにくっきりと三角の蓋が見える、通常は若草山、東大寺)
- 「猿沢池から興福寺五重塔」
- 「五十二段を見上げる」
- 「奈良から油坂の北側の寺が残っている町並み」
- 「唐招提寺の鑑真御廟と苔の絨毯」
- 「勝間田池から薬師寺東西両塔」
- 「秋篠川の唐招提寺北側から薬師寺南側までの区間」
- 「垂仁天皇陵」(歴史の道から眺める)
- 「秋篠寺の苔の絨毯」
- 「佐紀盾列古墳群の西側三陵(成務天皇、称徳天皇、日葉酢媛)周辺」(気軽に散歩したくなる場所)
- 「佐紀盾列古墳群の東側三陵(磐之媛、宇和奈辺、小奈辺)周辺」
- 「佐保川」(聖武天皇御陵周辺、桜、大和八景の蛸)
- 「正暦寺のもみじ」